

公立美術館が持ち得るホスピタリティで、様々な鑑賞の場を提供していきます。

(島根県松江市)

島根県立美術館 支配人 **岩井 裕一**



プロフィール

1961年東京都生まれ。1984年大学卒業後、サントリー株式会社に入社。2011年4月から島根県立美術館支配人、及び株式会社SPS（サントリーパブリシティサービス）の関連会社である株式会社SPSしまね専務取締役を務める。2012年に松江観光大使に就任。

Q 2005年に株式会社SPSしまねが島根県立美術館の指定管理者となり、2010年には3度目の契約が結ばれました。学術業務を県の直営、広報や運営・管理を指定管理者に委託する同美術館の業務分割方式は「島根方式」と呼ばれ、制度の好例として高い評価を受けています。

岩井：島根県立美術館の職員、学芸員、また指定管理者として業務に携わっている我々としても、当美術館が高く評価されていることは非常に喜ばしいです。一方で、指定管理者制度が全国で導入されて10年が経過しますが、すべての自治体で上手くいっているわけではなく、もとの直轄方式に戻した例も耳にしています。これは制度というハード部分だけを利用して機能しないということの表れかもしれません。当美術館では、副館長をはじめとする県の職員、学芸員、指定管理者の我々という異なる立場の三者がひとつ屋根の下に共存していますが、お互いの業務の様子や笑い声が筒抜けになるくらい、近い距離感で仕事をしています。さらに、週一回の全体会議のほか、何か議題があれば大テーブルにさっと集まって意見交換するような連携体制もあります。ハード部分を補完するソフト部分が、お互いの信頼関係の中で機能しないと、施設

として上手くまわっていかないのではないでしょう。

また、^{けんがく}喧々諤々^{ごうごう}と意見交換し、新しいことにもチャレンジしていくのが、この美術館に勤務する者の特徴といえます。美術館はよくハコモノといわれますが、ハコそのものではなく、勤務する人々が

どういう意識で仕事をしているかが大事だと思います。

Q 評価を得るためには入館者数が一つの指標になります。入館者数を増やすためにどのような取り組みをされていますか。

岩井：公立美術館は民間の美術館と設立趣旨が異なるので、単純に数字だけで評価することはできないと思います。しかし、バブル期のように観覧者数が右肩上がりまで伸びることが難しい状況下にあって、公立美術館においても現状の数をいかに維持し、少しでも増やしていけるかが重要です。県の収入となる観覧料収入が上がれば、次年度以降の企画展に安定した予算がつけられるからです。現在当美術館では年間約24万人の入館者数を維持しています。

また、これまでは企画展を行う際、館内で広報会議を行って実行委員会を立ち上げ、企画展終了後に観覧者数の結果を見るだけでした。現在は、企画展が始まってからの観覧者数を注視しつつ、企画展実行委員会の方々と広報推進会議を開き、軌道修正の施策を検討、実行しています。それによって、目標を達成するかどうだけでなく、目標達成のためには何が必要かという、数値から見た時の施策の必要性を学芸員と共有できます。企画展の結果だけを見て終

わりとするのではなく、そこに意志を込めなくてはなりません。

数字が大事である一方、公立美術館だからこそ取り組まなければいけないことがあると思います。その一つとして館内で話し合ってきたのが、小さなお子さんを連れた方、高齢者や障がい者など、美術館に行きたいけれどもなかなか行けないという方々に門戸をもっと広げることです。7月からは実際に、小さなお子さんを連れた方への鑑賞優先時間帯を週に一度設ける予定です。他のお客さまにきちんと説明し、ご理解いただいた上で、小さなお子さんと一緒に気兼ねなく鑑賞が楽しめる場を提供することは、ホスピタリティのデザインともいえます。

Q 地域に開かれた美術館として、どのような活動を行っていますか。

岩井：来館者の約8割が、県内及び中海圏（松江・安来・米子・境港の各市）からである当美術館は、地元の方に足しげく通っていただけるのが大切です。幼少期から本物の芸術に親しみ、感動体験をしていただくことは将来の好循環につながります。

そして、地域との連携は不可欠です。広報活動においても、まちの核となる場所をおさえつつ、今まで点だったものを面で押さえるように展開しています。先日の小企画展「松平不昧^{ふまい}」展では、地元和菓子店、茶舗と連携して店舗に企画展の割引券を置いていただきました。また「和菓子お茶マップ」を手作りで製作し、お店を紹介させていただきました。地元にご協力をお願いしながら、お互いにWin-Winの関係を構築することがこれからも大切になってくると思います。

インタビュー・構成：
城市奈那（株式会社ジェイクリエイト）